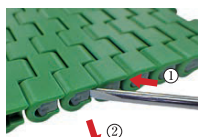


分解・連結時

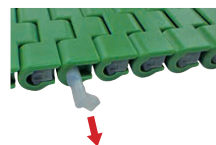
◆ スリットピン仕様の分解・連結
(WT0705-W50-SP, WT0705-W100-SP, WT0705-M30-SP)

● 分解

① 先の細いマイナスドライバ
(先端の幅が1.5mm程度のもの)
をチェーン側面のスリットピン
のストッパ部分の後方にあて、
前方に押しながらテコの要領で
ストッパ部分を引き出します。

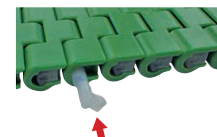


② 出てきたストッパ部分を掴み
スリットピンを引き抜きチェ
ーンを分解します。



● 連結

① チェーンを連結する際は、チェ
ーン同士を引き寄せて組合せ、一
端よりスリットピンを挿入します。



② ストッパ部分の向きに注意し、
パチッと音がするまで押しはめて
ください。

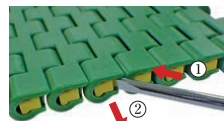
③ スリットピンが正常に取付けられ
ているか確認してください。



◆ プラグ止め方式の分解・連結
(WT0705-W 形: 100mm を超える幅)

● 分解

① 先の細いマイナスドライバ
(先端の幅が1.5mm程度の
もの)をチェーン側面のプラグ
にあてます。



② テコの要領でプラグを本体から
外します。
この時プラグが飛ばないように
注意してください。



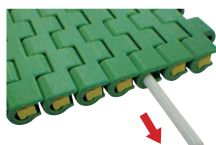
③ チェーン反対側も①②と同様に
プラグを外してください。



④ チェーン側面のピン穴に丸棒
(φ2.7 以下)を挿入してピン
を押し出します。

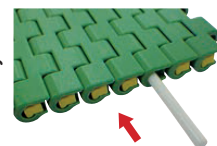


⑤ 反対側から出てきたピンを
つかみチェーンから引き抜き
分解します。



● 連結

① チェーンを連結する際は、
チェーン同士を引き寄せて組合せ、
一端よりピンを挿入します。



② 次にピン挿入部を塞ぐため、
プラグを差し込みます。



③ この際、プラグの向きに注意し、
パチッと音がするまで押しはめて
ください。



④ プラグが正常に取付けられてい
るか確認してください。

注) 連結時には付属もしくは専用のピン及びスリットピンを使用して
連結してください。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

危険防止のため、下記の事項に従ってください。

- チェーンおよびアクセサリ (周辺機器・パーツ) は、本来の用途以外には使用しないでください。
- チェーンへの追加加工は絶対行わないでください。
 - ・チェーンを酸やアルカリで洗浄しないでください。割れが生じます。
- 損耗 (破損) した箇所の取替は、損耗 (破損) 部分のみの取替ではなく、すべてを新品に取替えてください。
- チェーンおよびスプロケットには、必ず危険防止具 (安全カバーなど) を取付けてください。
- 脆性割れを引き起こすもの (酸・強アルカリ・バッテリー液など) がチェーンに付着した場合は、直ちにチェーンの使用を中止し新品に交換してください。
- 労働安全衛生規則第二編第一章第一節一般基準を遵守してください。
- チェーンの取付け、取外し、保守点検、給油などの際には、
 - ・取扱説明書もしくはカタログにしたがって作業してください。
 - ・事前に必ず装置の電源スイッチを切り、また不慮にスイッチが入らないようにしてください。
 - ・チェーン及び部品が自由に動かないように固定してください。
 - ・切継ぎはプレス器具、専用工具を使用し、正しい方法で行ってください。
 - ・作業に適した服装、適切な保護具 (安全眼鏡、手袋、安全靴など) を着用してください。
 - ・チェーンの取替は、作業に熟練した方が行ってください。

⚠ 注意

事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- チェーンおよび各パーツの構造、仕様を理解したうえで取扱ってください。
- チェーンおよび各パーツを据付ける際には、事前に輸送時の破損がないか検査してください。
- チェーン、スプロケットおよび各パーツは必ず定期的に保守点検をしてください。
- チェーンの強度はメーカーによって異なります。当社カタログによって選定された場合には、必ず当社製品をご使用ください。
- チェーンはスロースタート、スロー停止を行い、衝撃を与えないでください。
- チェーンには初期張力を与えないでください。
- 特殊な液体 (酸、アルカリ等の薬品や溶剤) がかかる場合、また特殊な条件 (紫外線等) で使用する場合は当社までお問い合わせください。
- エンプラ製ピンを使用したチェーンは、ウェットな条件では60℃を越える温度で使用しないでください。
- 超低摩擦・耐摩耗(ALF)仕様のチェーンのリンク素材にはシリコーン系潤滑剤を配合しています。このため印刷工程のある条件や、シリコーンが悪影響を与える条件では使用しないでください。
- プラスチック製チェーンの近くでは火気を使用しないでください。
(溶接・溶断・グラインダー作業等)